

5 生涯学習に関するアンケート調査の結果(主な結果)

【アンケートの実施概要】

	市民調査	団体調査
調査目的	生涯学習に関する市民意識を把握することで、第2次生涯学習推進計画を改定する際の基礎資料とするものです。	
調査対象	市内在住の男女（16歳以上）を無作為に抽出した3,500人を対象としました。	公民館等で定期的に活動している団体515団体を対象としました。
調査方法	郵送調査法（調査票を使って回答する以外に、パソコンやスマートフォンによる回答）	
調査期間	2021年（令和3年）9月8日～9月30日	
回収率	47.1%（回収数1,650件）	92.4%（回収数476件）

【調査結果の見方】

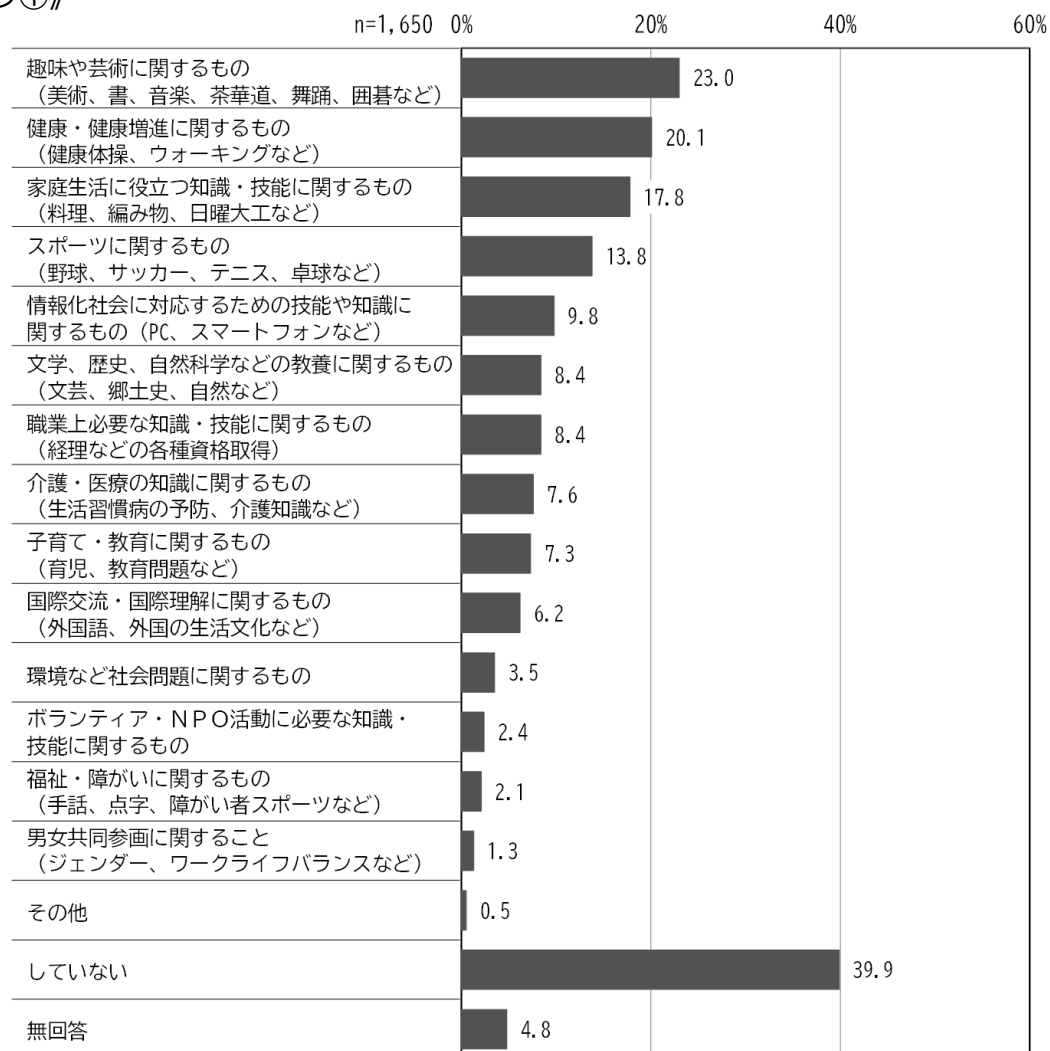
- ・図表中の割合（％）は、その設問の回答者数（無回答者を含める）に対する割合を算出しています。
- ・図表中の割合（％）は、小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・グラフ、集計表中の「n」は、各設問の母数（回答者数）を表します。
- ・集計表については割合が高いものに網掛けをしており、色が濃いほど割合が高くなっています（その他、無回答を除く）。

(1)生涯学習活動の状況

■ 学習(学校以外)の内容(全体)

実施している生涯学習の内容について、全体の結果をみると、「していない」の割合が最も高く、39.9%となっています。実施している内容については、「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」（23.0%）、「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（20.1%）の順で割合が高くなっています。一方、「環境など社会問題に関するもの」、「福祉・障がいに関するもの（手話、点字、障がい者スポーツなど）」、「男女共同参画に関すること（ジェンダー、ワークライフバランスなど）」といった地域の福祉課題に関するものについては、取り組む人が少ない傾向にあります。

《グラフ①》



■ 学習(学校以外)の内容(年代別)

いずれの年代も「していない」の割合が高くなっていますが、実施している生涯学習の内容について、年代別の結果をみると、10 歳代、20 歳代、40 歳代、50 歳代では「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」、30 歳代では「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」、60 歳代以上では「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」の割合が高くなっています。

一方、「していない」の割合は 40 歳代で高い傾向にあり、48.8%となっています。

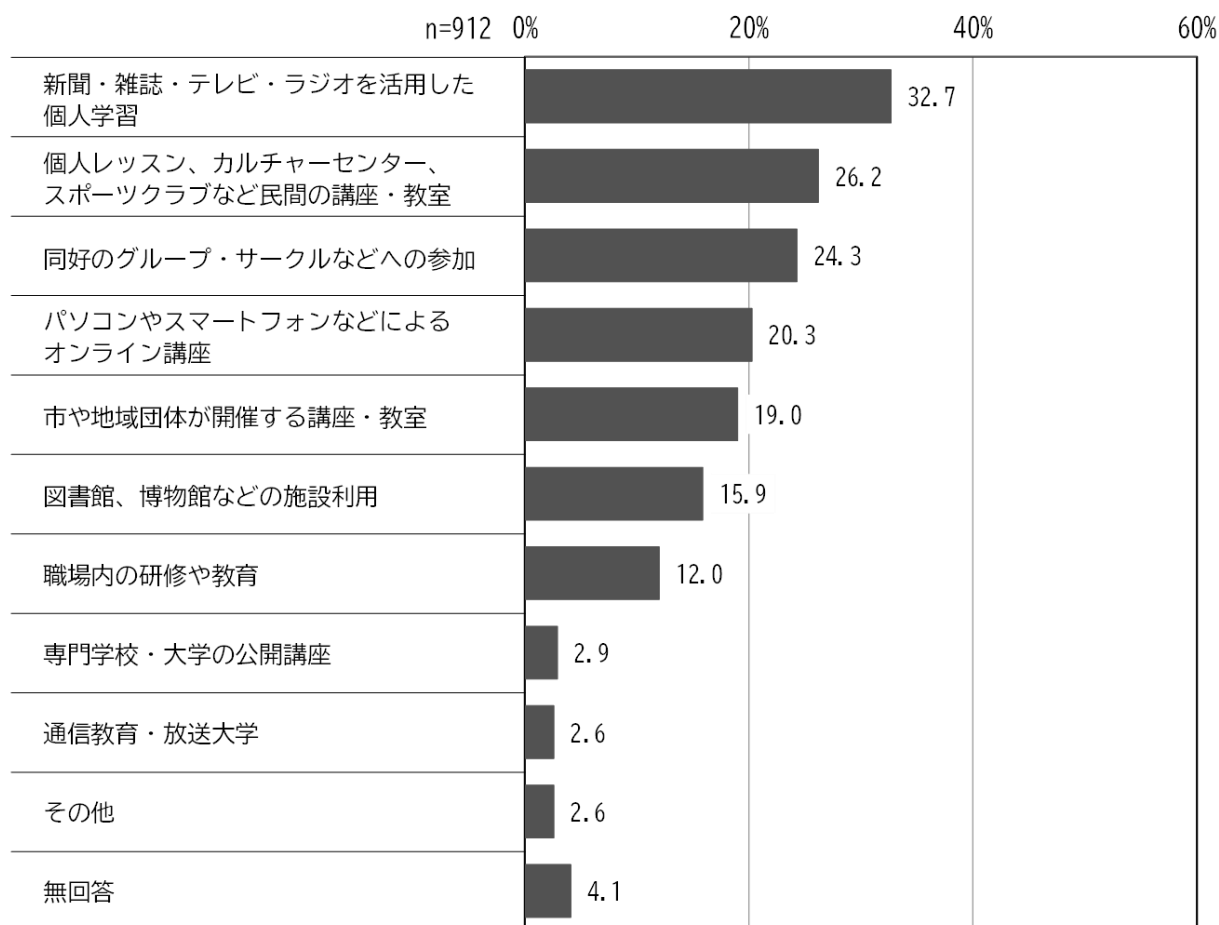
《表①》

	趣味や芸術に関するもの (美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)	健康・健康増進に関するもの (健康体操、ウォーキングなど)	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの (料理、編み物、日曜大工など)	スポーツに関するもの (野球、サッカー、テニス、卓球など)	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの (PC、スマートフォンなど)	文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの (文芸、郷土史、自然など)	職業上必要な知識・技能に関するもの (経理などの各種資格取得)	介護・医療の知識に関するもの (生活習慣病の予防、介護知識など)	子育て・教育に関するもの (育児、教育問題など)	国際交流・国際理解に関するもの (外国語、外国の生活文化など)	環境など社会問題に関するもの	ボランティア・NPO 活動に必要な知識・技能に関するもの	福祉・障がいに関するもの (手話、点字、障がい者スポーツなど)	男女共同参画に関するもの (ジェンダー、ワークライフバランスなど)	その他	していない	無回答
10歳代 (n=59)	28.8	3.4	11.9	27.1	15.3	6.8	10.2	3.4	-	15.3	1.7	-	1.7	-	-	35.6	1.7
20歳代 (n=132)	31.8	11.4	22.7	14.4	13.6	6.8	13.6	11.4	11.4	9.1	2.3	2.3	2.3	1.5	0.8	36.4	-
30歳代 (n=183)	16.9	13.1	23.5	15.3	12.6	8.2	13.1	6.6	20.8	6.0	0.5	1.1	1.6	3.3	-	43.2	1.1
40歳代 (n=328)	17.7	14.3	17.4	13.7	8.8	6.7	12.5	5.8	10.1	6.4	2.4	0.9	0.6	0.6	0.9	48.8	0.9
50歳代 (n=290)	24.8	17.6	18.6	14.5	7.9	6.9	9.7	5.2	6.6	7.2	1.4	0.7	1.7	1.0	0.3	43.8	4.1
60歳代 (n=206)	22.3	25.2	18.9	14.6	10.2	9.7	6.3	7.3	2.4	5.8	4.9	2.9	2.9	1.5	0.5	40.8	4.9
70歳代 (n=312)	26.6	34.0	15.7	11.5	9.3	11.5	1.9	12.5	1.3	3.2	6.7	6.1	3.8	1.3	1.0	30.4	8.7
80歳代以上 (n=127)	23.6	24.4	10.2	7.9	7.1	8.7	2.4	7.1	2.4	3.9	6.3	3.1	1.6	0.8	-	30.7	18.9

■ 学習の方法(全体)

学習の方法について、全体の結果をみると、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」(32.7%)、「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」(26.2%)、「同好のグループ・サークルなどへの参加」(24.3%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ②》



■ 学習の方法(年代別)

学習の方法について、年代別の結果をみると、10 歳代、50 歳代、60 歳代では「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」、20 歳代～40 歳代では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習」、70 歳代では「同好のグループ・サークルなどへの参加」、80 歳代以上では「市や地域団体が開催する講座・教室」の割合が最も高くなっています。また、「市や地域団体が開催する講座・教室」の割合は 70 歳代から増加する傾向にあり、60 歳代までは 10%台であるのに対し、70 歳代以上では 30%以上となっています（70 歳代：35.3%、80 歳代以上：34.4%）。一方で、「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」については 70 歳代以上での割合が特に低くなっています。

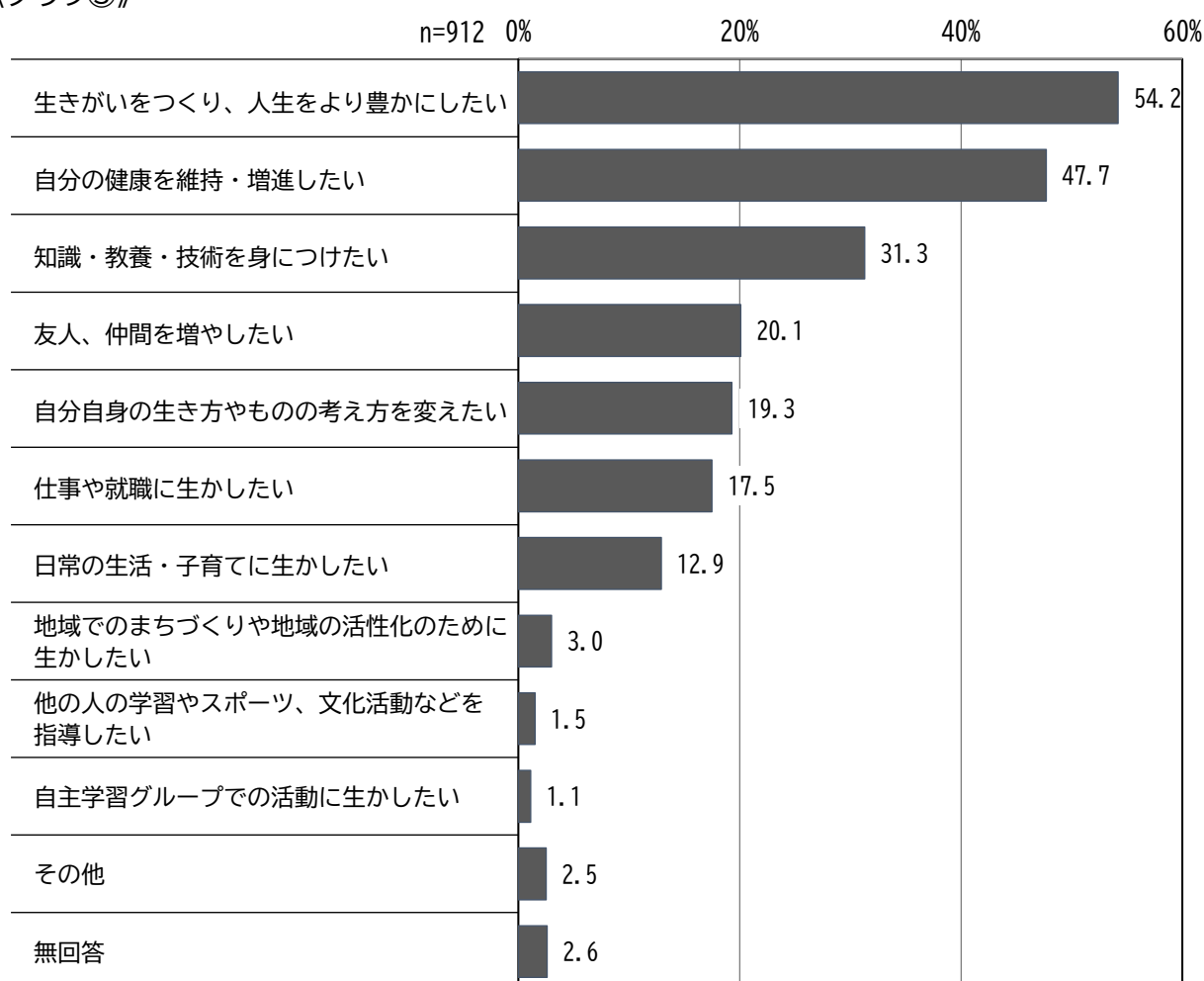
《表②》

	新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習	個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室	同好のグループ・サークルなどへの参加	パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座	市や地域団体が開催する講座・教室	図書館、博物館などの施設利用	職場内の研修や教育	専門学校・大学の公開講座	通信教育・放送大学	その他	無回答
											(%)
10歳代 (n=37)	27.0	32.4	18.9	21.6	2.7	8.1	2.7	10.8	2.7	8.1	-
20歳代 (n=84)	39.3	13.1	9.5	34.5	3.6	14.3	27.4	6.0	2.4	2.4	1.2
30歳代 (n=102)	48.0	19.6	15.7	28.4	8.8	14.7	18.6	1.0	2.9	4.9	2.0
40歳代 (n=165)	38.2	28.5	17.0	26.1	14.5	17.6	24.8	1.8	6.7	1.2	0.6
50歳代 (n=151)	31.1	33.8	21.9	26.5	18.5	13.9	11.3	2.0	2.0	1.3	0.7
60歳代 (n=112)	30.4	31.3	30.4	17.9	14.3	17.9	6.3	2.7	2.7	3.6	3.6
70歳代 (n=190)	24.7	27.9	37.9	7.9	35.3	17.9	0.5	3.2	0.5	2.1	8.9
80歳代以上 (n=64)	21.9	15.6	31.3	1.6	34.4	14.1	-	1.6	-	3.1	15.6

■ 生涯学習を行っている理由(全体)

生涯学習を行っている理由について、全体の結果をみると、「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」（54.2%）、「自分の健康を維持・増進したい」（47.7%）、「知識・教養・技術を身につけたい」（31.3%）の順で割合が高くなっており、個人の楽しみや健康維持、スキルアップのために取り組んでいる人が多くなっています。一方、「友人・仲間を増やしたい」、「地域でのまちづくりや活性化のために生かしたい」など、人的交流や地域のために活動している人は少ない状況にあります。

《グラフ③》



■ 生涯学習を行っている理由(年代別)

生涯学習を行っている理由について、年代別の結果をみると、ほとんどの年代において「生きがいづくり、人生をより豊かにしたい」の割合が最も高くなっていますが、30 歳代では「日常生活・子育てに生かしたい」、70 歳代では「自分の健康を維持・増進したい」の割合が最も高くなっています。また、「友人、仲間を増やしたい」については 60 歳代から割合が増加する傾向にあります。

《表③》

(%)

	生きがいづくり、人生をより豊かにしたい	自分の健康を維持・増進したい	知識・教養・技術を身に付けた	友人、仲間を増やしたい	自分自身の生き方やものの考え方を変えたい	仕事や就職に生かしたい	日常生活・子育てに生かしたい	地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導したい	自主学習グループでの活動に生かしたい	その他	無回答
10歳代 (n=37)	43.2	21.6	35.1	16.2	35.1	29.7	5.4	-	5.4	5.4	5.4	-
20歳代 (n=84)	54.8	22.6	36.9	17.9	26.2	29.8	11.9	3.6	3.6	-	-	-
30歳代 (n=102)	38.2	34.3	33.3	13.7	26.5	30.4	41.2	-	2.0	-	1.0	-
40歳代 (n=165)	49.1	35.8	36.4	10.9	24.8	32.1	18.2	2.4	1.2	1.2	3.0	0.6
50歳代 (n=151)	57.0	48.3	37.7	16.6	11.3	18.5	9.9	2.0	1.3	0.7	3.3	0.7
60歳代 (n=112)	56.3	55.4	27.7	24.1	19.6	8.9	8.9	5.4	-	0.9	2.7	3.6
70歳代 (n=190)	62.1	71.6	23.2	32.6	15.8	0.5	3.2	5.3	1.6	1.1	2.1	5.3
80歳代以上 (n=64)	64.1	62.5	18.8	21.9	6.3	1.6	4.7	1.6	-	3.1	4.7	10.9

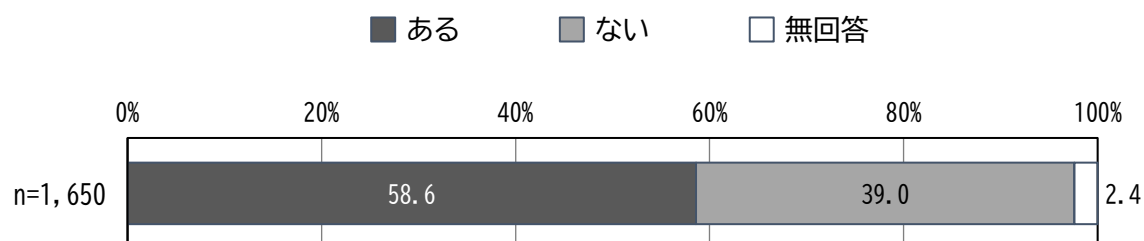
(2)生涯学習施設の利用状況

■ 公民館、ふれあいセンター等の利用有無(全体・年代別)

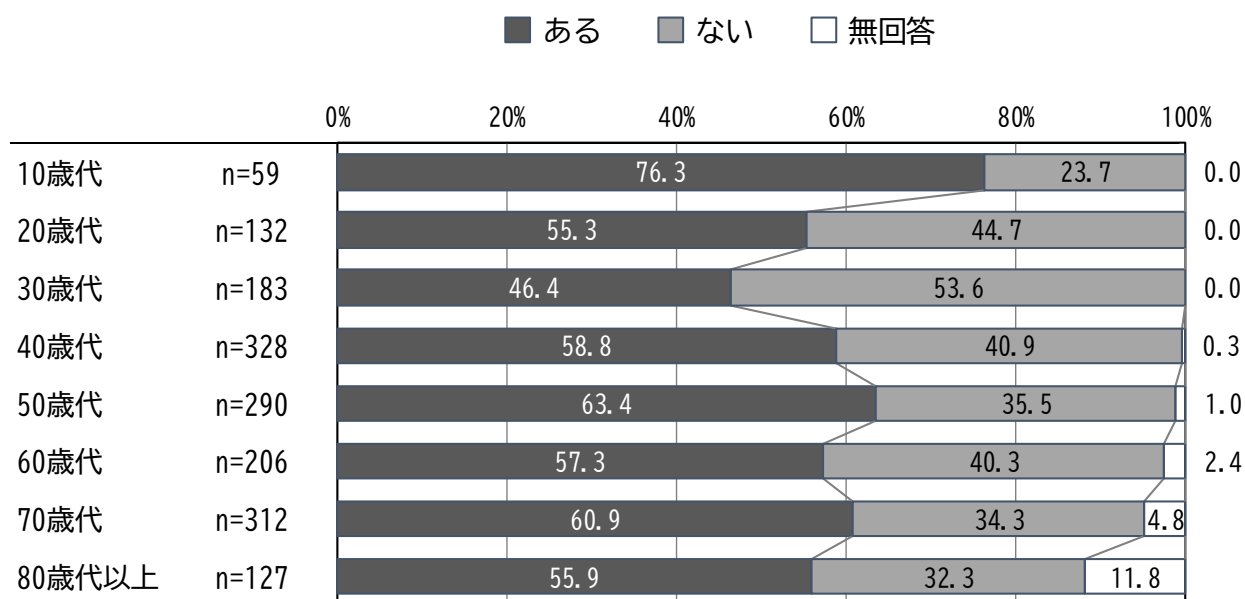
公民館、ふれあいセンター等の利用有無について、全体の結果をみると、「ある」が 58.6%、「ない」が 39.0%となっています。

年代別の結果をみると、ほとんどの年代で「ある」の割合の方が高く、特に 10 歳代での割合が高くなっています（76.3%）。30 歳代については「ない」の割合の方が高くなっています。

《グラフ④》



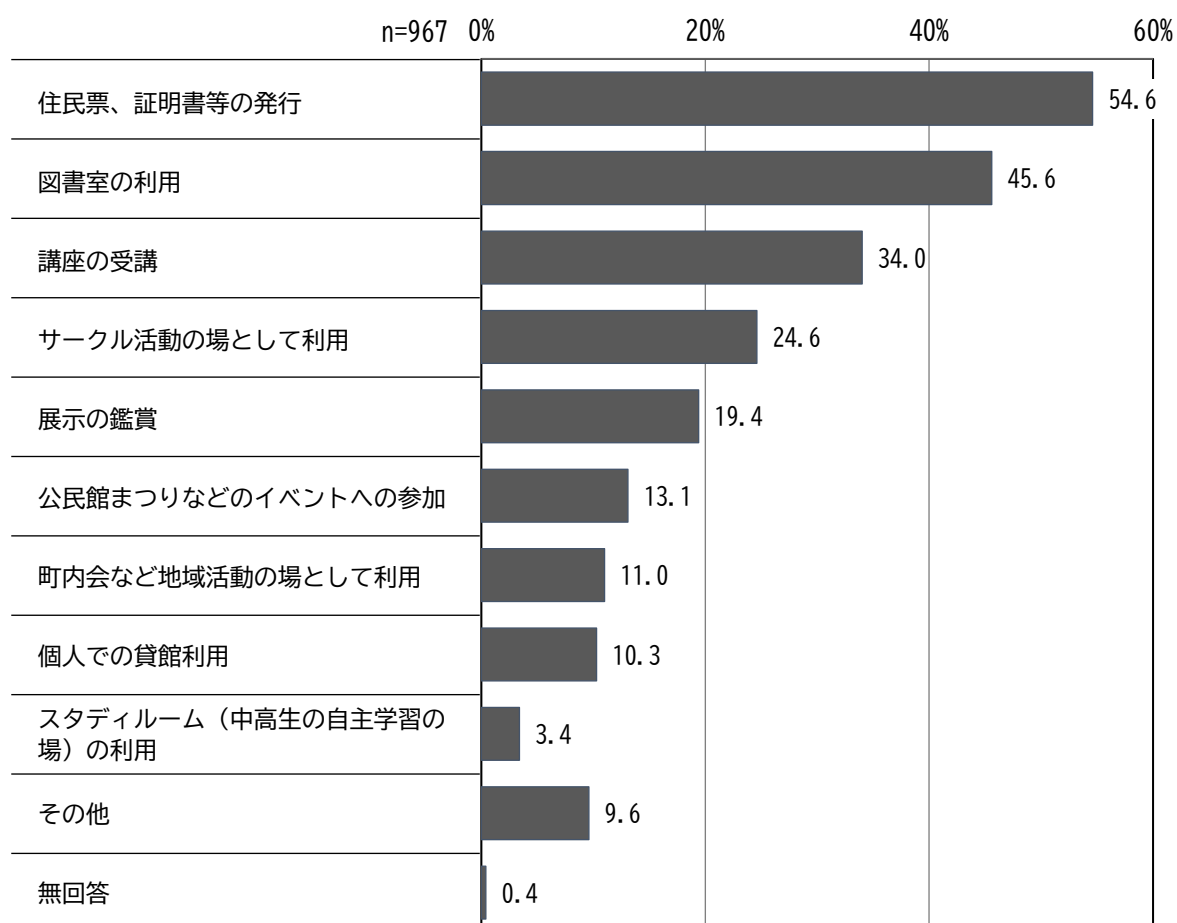
《グラフ⑤》



■ 公民館、ふれあいセンター等の利用目的(全体)

公民館、ふれあいセンター等の利用目的について、全体の結果をみると、「住民票、証明書等の発行」(54.6%)、「図書室の利用」(45.6%)、「講座の受講」(34.0%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑥》



■ 公民館、ふれあいセンター等の利用目的(年代別)

公民館、ふれあいセンター等の利用目的について、年代別の結果をみると、20 歳代～60 歳代までは「住民票、証明書等の発行」と「図書室の利用」が上位 2 位となっていますが、10 歳代では「図書室の利用」と「講座の受講」、70 歳代以上では「住民票、証明書等の発行」と「講座の受講」が上位 2 位となっています。

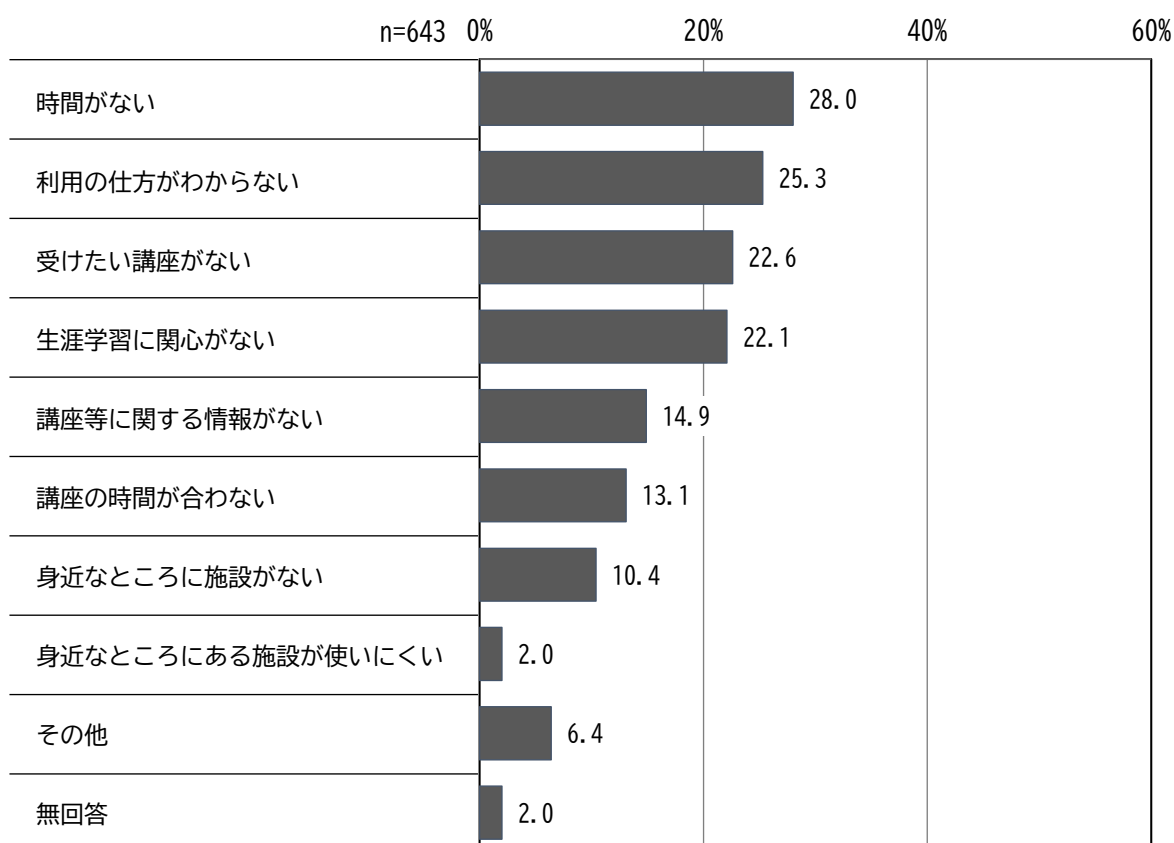
《表④》

	住民票、 証明書等の発行	図書室の 利用	講座の 受講	サークル活動の場として 利用	展示の鑑賞	公民館まつりなどのイベントへの 参加	町内会など地域活動の場として 利用	個人での貸館利用	スタディールーム（中高生の自主 学習の場）の利用	その他	(%) 無回答
10歳代 (n=45)	17.8	51.1	22.2	17.8	13.3	11.1	6.7	15.6	20.0	22.2	0.0
20歳代 (n=73)	39.7	63.0	5.5	17.8	11.0	19.2	5.5	17.8	11.0	11.0	0.0
30歳代 (n=85)	44.7	45.9	20.0	18.8	12.9	12.9	7.1	9.4	3.5	11.8	0.0
40歳代 (n=193)	57.5	51.3	35.8	23.3	10.4	8.8	10.9	13.0	2.6	8.3	0.0
50歳代 (n=184)	67.9	53.8	33.2	20.7	17.4	9.8	12.5	11.4	3.3	14.7	0.0
60歳代 (n=118)	69.5	44.1	30.5	22.9	21.2	7.6	11.9	15.3	0.8	7.6	0.0
70歳代 (n=190)	51.6	33.2	51.6	35.3	33.7	22.1	12.6	3.7	0.0	3.7	1.1
80歳代以上 (n=71)	47.9	23.9	46.5	29.6	28.2	14.1	15.5	1.4	0.0	5.6	2.8

■ 公民館、ふれあいセンター等を利用していない理由(全体)

公民館、ふれあいセンター等を利用していない理由について、全体の結果をみると、「時間がない」(28.0%)、「利用の仕方がわからない」(25.3%)、「受けたい講座がない」(22.6%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑦》



■ 公民館、ふれあいセンター等を利用していない理由(年代別)

公民館、ふれあいセンター等を利用していない理由について、年代別の結果をみると、10 歳代～40 歳代までは「時間がない」と「利用の仕方がわからない」が上位 2 位となっていますが、10 歳代は「受けたい講座がない」、「講座等に関する情報がない」、20 歳代は「講座等に関する情報がない」も上位 2 位にあがっています。50 歳代、60 歳代については、「受けたい講座がない」と「生涯学習に関心がない」、70 歳代以上については、「利用の仕方がわからない」、「生涯学習に関心がない」が上位 2 位となっています。

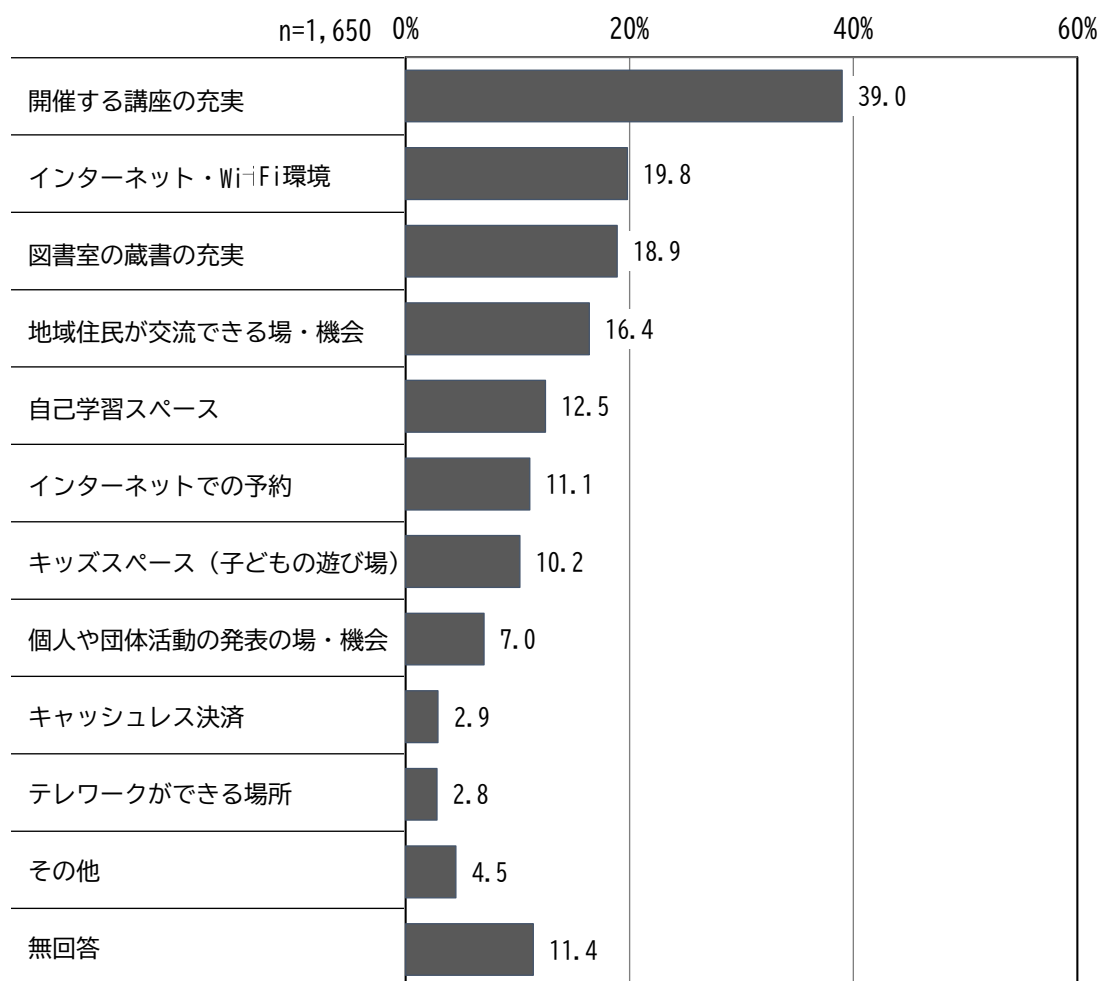
《表⑤》

	時間がない	利用の仕方がわからない	受けたい講座がない	生涯学習に関心がない	講座等に関する情報がない	講座の時間が合わない	身近なところに施設がない	身近なところにある施設が使いにくい	その他	無回答
10歳代 (n=14)	35.7	28.6	28.6	7.1	28.6	21.4	14.3	0.0	7.1	0.0
20歳代 (n=59)	27.1	45.8	16.9	18.6	27.1	1.7	13.6	3.4	1.7	0.0
30歳代 (n=98)	42.9	30.6	13.3	17.3	17.3	10.2	9.2	3.1	4.1	0.0
40歳代 (n=134)	35.1	27.6	20.9	18.7	14.2	15.7	8.2	1.5	3.7	0.7
50歳代 (n=103)	33.0	20.4	34.0	18.4	13.6	27.2	7.8	1.9	4.9	0.0
60歳代 (n=83)	21.7	19.3	36.1	24.1	13.3	18.1	9.6	1.2	6.0	1.2
70歳代 (n=107)	13.1	18.7	17.8	36.4	9.3	5.6	12.1	1.9	9.3	6.5
80歳代以上 (n=41)	9.8	19.5	14.6	22.0	12.2	0.0	17.1	2.4	19.5	7.3

■ 公民館やふれあいセンター等の施設に求めるもの(全体)

公民館やふれあいセンター等の施設に求めるものについて、全体の結果をみると、「開催する講座の充実」(39.0%)、「インターネット・Wi-Fi 環境」(19.8%)、「図書室の蔵書の充実」(18.9%) の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑧》



■ 公民館やふれあいセンター等の施設に求めるもの(年代別)

公民館やふれあいセンター等の施設に求めるものについて、年代別の結果をみると、10 歳代、20 歳代では「インターネット・Wi-Fi 環境」、30 歳代では「キッズスペース（子どもの遊び場）」、40 歳代以上では「開催する講座の充実」が最も高くなっています。また、いずれの年代においても「開催する講座の充実」は割合が高くなっています。

《表⑥》

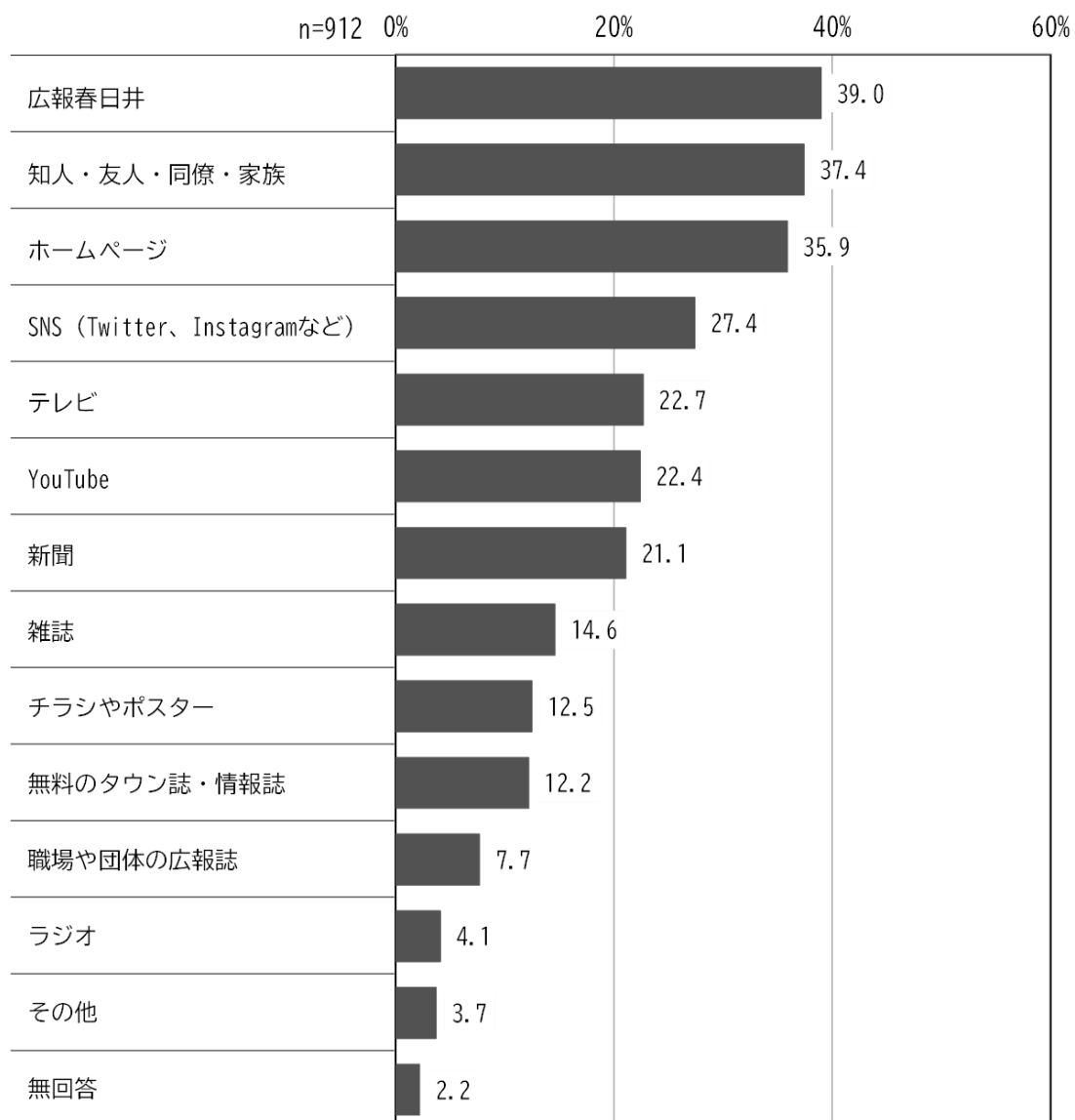
	(%)											
	開催する講座の充実	インターネット・Wi-Fi 環境	図書室の蔵書の充実	地域住民が交流できる場・機会	自己学習スペース	インターネットでの予約	キッズスペース（子どもの遊び場）	個人や団体活動の発表の場・機会	キャッシュレス決済	テレワークができる場所	その他	無回答
10歳代 (n=59)	20.3	50.8	10.2	5.1	44.1	16.9	3.4	1.7	0.0	8.5	5.1	1.7
20歳代 (n=132)	28.8	37.1	16.7	6.8	20.5	18.2	15.9	7.6	6.8	6.1	4.5	1.5
30歳代 (n=183)	30.1	24.6	16.9	8.7	15.8	14.2	38.3	6.6	4.4	3.8	4.4	0.5
40歳代 (n=328)	41.2	25.3	20.4	12.8	15.9	17.4	13.4	4.9	4.9	3.4	3.7	4.0
50歳代 (n=290)	52.8	23.1	22.4	13.1	9.3	13.4	4.1	7.6	3.4	3.8	5.2	3.8
60歳代 (n=206)	41.3	15.0	19.9	20.4	10.2	5.3	3.4	7.8	1.0	1.5	7.8	12.1
70歳代 (n=312)	37.5	5.4	18.3	27.2	4.8	3.5	2.9	10.3	0.0	0.3	3.5	28.2
80歳代以上 (n=127)	33.9	2.4	15.7	26.0	7.1	0.8	1.6	4.7	2.4	0.0	2.4	35.4

(3)生涯学習に関する情報

■ 生涯学習に関する情報源(全体)

生涯学習に関する情報源について、全体の結果をみると、「広報春日井」(39.0%)、「知人・友人・同僚・家族」(37.4%)、「ホームページ」(35.9%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑨》



■ 生涯学習に関する情報源(年代別)

生涯学習に関する情報源について、年代別の結果をみると、10 歳代、20 歳代では「SNS (Twitter、Instagram など)」、30 歳代～50 歳代では「ホームページ」、60 歳代以上では「広報春日井」の割合が最も高く、年代によって情報の入手方法が異なっている状況にあります。

また、10 歳代、20 歳代での「広報春日井」の割合、70 歳代以上での「ホームページ」、「SNS (Twitter、Instagram など)」の割合は低く、10%未満となっています。そのほか、10 歳代～30 歳代では「新聞」の割合も低い傾向にあります。

《表⑦》

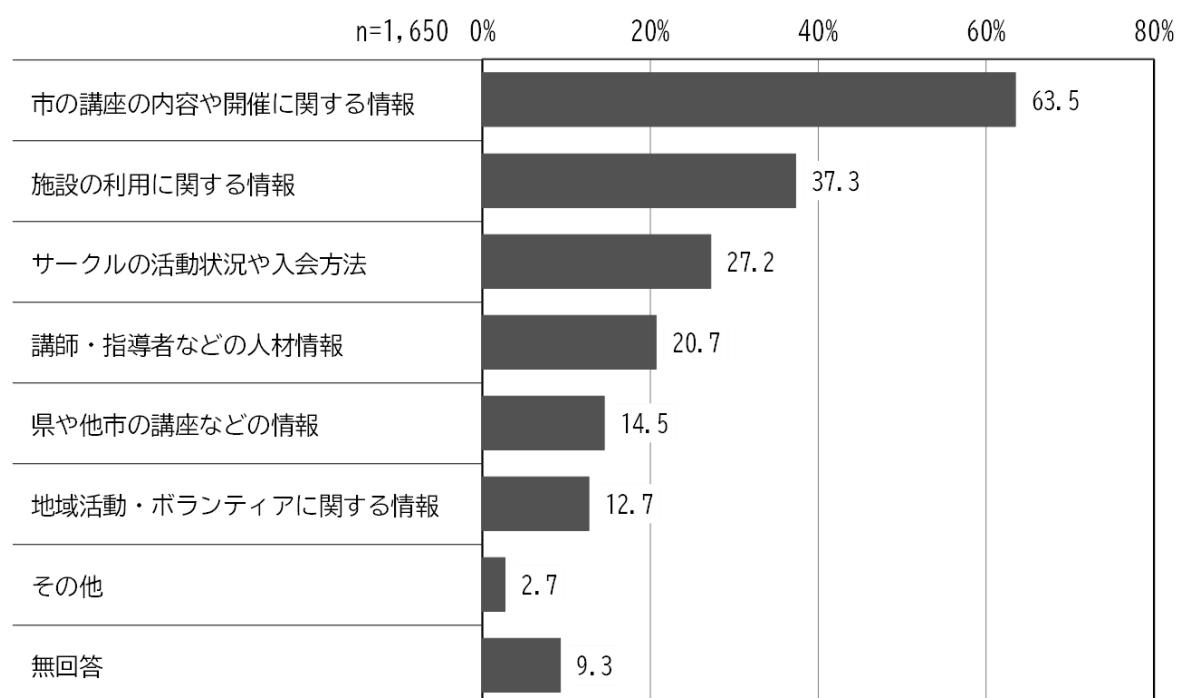
(%)

	広報春日井	知人・友人・同僚・家族	ホームページ	SNS (Twitter、Instagram など)	テレビ	YouTube	新聞	雑誌	チラシやポスター	無料のタウン誌・情報誌	職場や団体の広報誌	ラジオ	その他	無回答
10歳代 (n=37)	2.7	51.4	24.3	59.5	27.0	54.1	10.8	13.5	5.4	2.7	-	2.7	5.4	2.7
20歳代 (n=84)	6.0	26.2	39.3	75.0	27.4	47.6	3.6	6.0	4.8	3.6	14.3	2.4	8.3	-
30歳代 (n=102)	20.6	23.5	60.8	52.0	27.5	43.1	7.8	25.5	3.9	9.8	3.9	2.0	2.0	-
40歳代 (n=165)	32.1	37.0	52.7	36.4	23.0	26.7	13.9	17.6	10.9	13.9	13.3	3.6	2.4	-
50歳代 (n=151)	36.4	39.1	50.3	27.2	21.9	19.2	22.5	15.9	15.2	12.6	11.3	5.3	3.3	-
60歳代 (n=112)	50.9	32.1	32.1	5.4	28.6	15.2	28.6	19.6	11.6	19.6	8.0	6.3	6.3	1.8
70歳代 (n=190)	60.5	48.9	9.5	1.1	15.8	3.7	35.8	9.5	20.5	15.3	2.1	4.7	2.1	5.3
80歳代以上 (n=64)	73.4	37.5	7.8	1.6	18.8	1.6	29.7	4.7	14.1	6.3	3.1	3.1	4.7	10.9

■ 生涯学習を盛んにしていくために必要な情報(全体)

生涯学習を盛んにしていくために必要な情報について、全体の結果をみると、「市の講座の内容や開催に関する情報」の割合（63.5%）が最も多く、60%以上となっています。次いで「施設の利用に関する情報」（37.3%）、「サークルの活動状況や入会方法」（27.2%）の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑩》



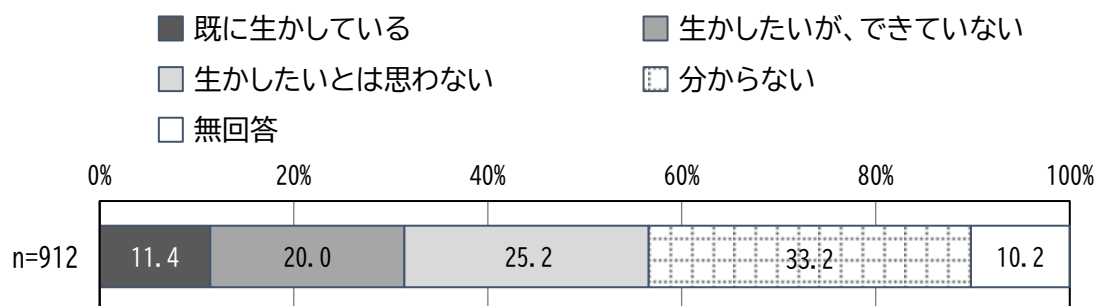
(4)学習の成果の活用状況

■ 学習成果をまちづくりに生かしているか(全体・年代別)

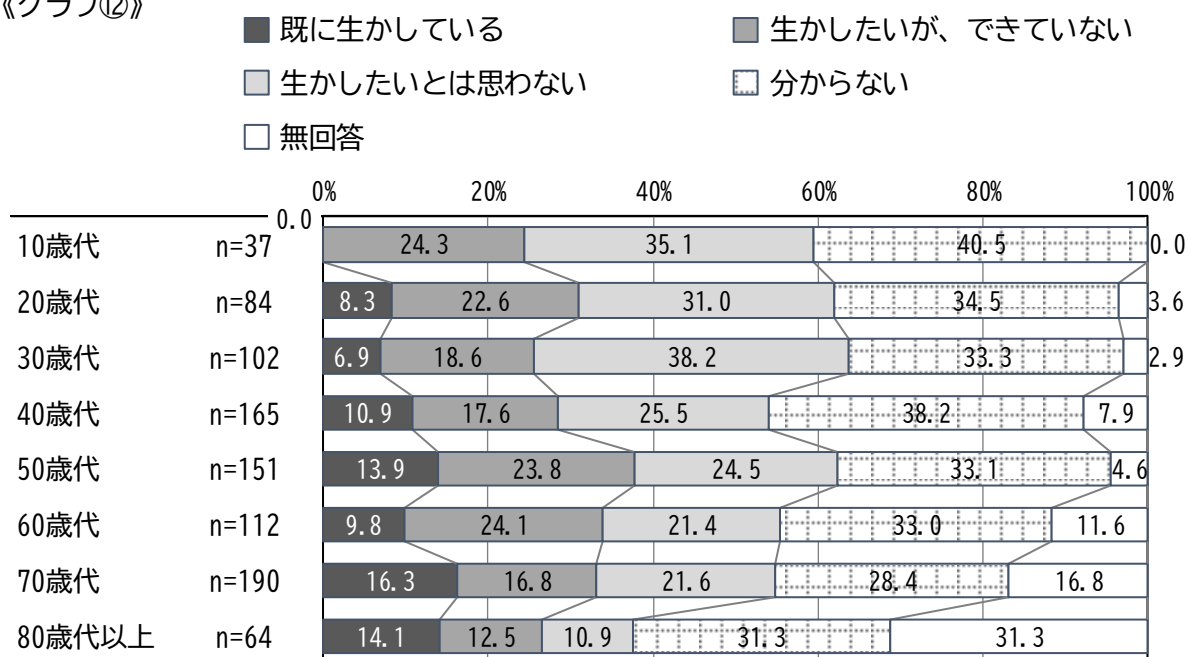
学習成果をまちづくりに生かしているかについて、全体の結果をみると、「分からない」の割合（33.2%）が最も高くなっています。「既に生かしている」は 11.4%、「生かしたいが、できていない」は 20.0%、「生かしたいとは思わない」が 25.2%となっています。

年代別の結果をみると、ほとんどの年代で「分からない」の割合が最も高くなっていますが、「既に生かしている」の割合は 70 歳代で最も高く、16.3%となっています。また、10 歳代～30 歳代では「生かしたいとは思わない」の割合が他の年代に比べて高い傾向にあり、30%以上となっています（10 歳代：35.1%、20 歳代：31.0%、30 歳代：38.2%）。

《グラフ⑪》



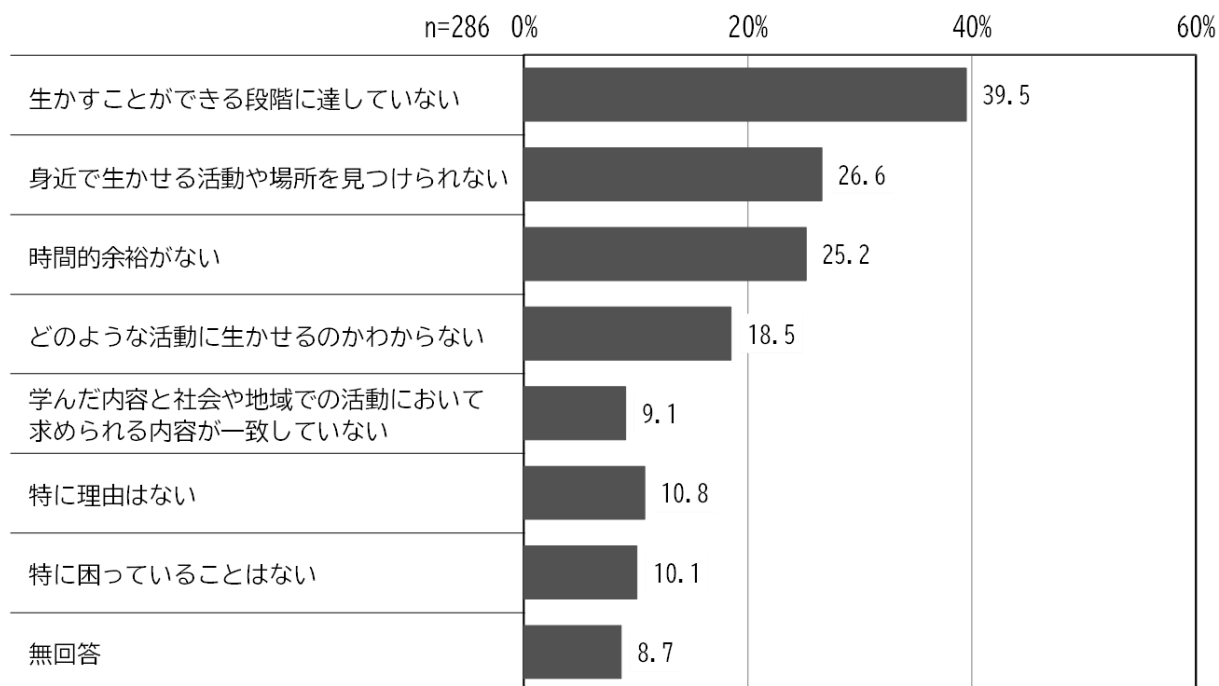
《グラフ⑫》



■ 学習成果をまちづくりに生かす上での課題、生かせていない理由(全体)

学習成果をまちづくりに生かす上での課題、生かせていない理由について、全体の結果をみると、「生かすことができる段階に達していない」（39.5%）、「身近で生かせる活動や場所を見つけられない」（26.6%）、「時間的余裕がない」（25.2%）の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑬》



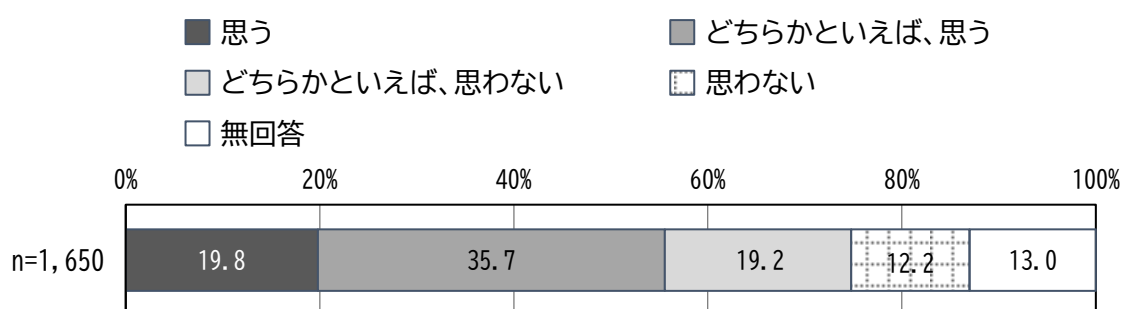
(5)今後の学習意向

■ 生涯学習に対する今後の意向(全体・年代別)

今後生涯学習に取り組みたいかについて、全体の結果をみると、『思う』（「思う」+「どちらかといえば、思う」）は 55.5%、『思わない』（「思わない」+「どちらかといえば、思わない」）は 31.4%となっています。

年代別の結果をみると、10 歳代～60 歳代までは『思う』の割合の方が高いのに対し、70 歳代以上では『思わない』の割合の方が高くなっています。

《グラフ⑭》



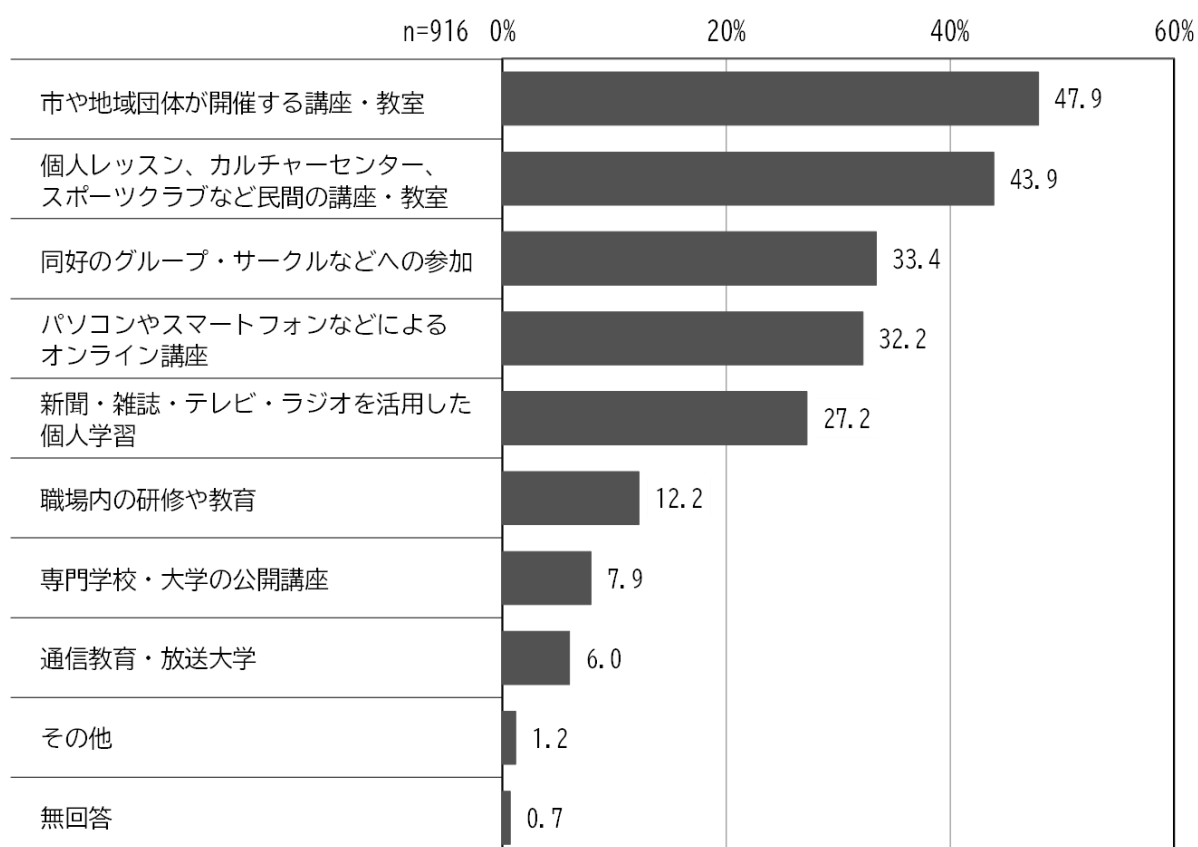
《表⑧》

	思う	どちらかといえば、思う	どちらかといえば、思わない	思わない	無回答	思う（「思う」+「どちらかといえば、思う」）	思わない（「思わない」+「どちらかといえば、思わない」）
10歳代 (n=59)	25.4	37.3	25.4	8.5	3.4	62.7	33.9
20歳代 (n=132)	26.5	38.6	20.5	9.8	4.5	65.1	30.3
30歳代 (n=183)	20.8	44.3	20.8	9.8	4.4	65.1	30.6
40歳代 (n=328)	24.7	37.5	18.0	8.2	11.6	62.2	26.2
50歳代 (n=290)	25.5	40.3	17.9	7.6	8.6	65.8	25.5
60歳代 (n=206)	11.7	44.2	18.9	11.7	13.6	55.9	30.6
70歳代 (n=312)	13.5	25.3	19.9	20.5	20.8	38.8	40.4
80歳代以上 (n=127)	13.4	15.7	18.9	21.3	30.7	29.1	40.2

■ 希望する学習方法(全体)

希望する学習方法について、全体の結果をみると、「市や地域団体が開催する講座・教室」（47.9%）、「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」（43.9%）、「同好のグループ・サークルなどへの参加」（33.4%）の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑮》



■ 希望する学習方法(年代別)

希望する学習方法について、年代別の結果をみると、10 歳代、80 歳代以上では「同好のグループ・サークルなどへの参加」、20 歳代では「パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座」、30 歳代、40 歳代では「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座・教室」、50 歳代～70 歳代では「市や地域団体が開催する講座・教室」の割合が最も高くなっています。

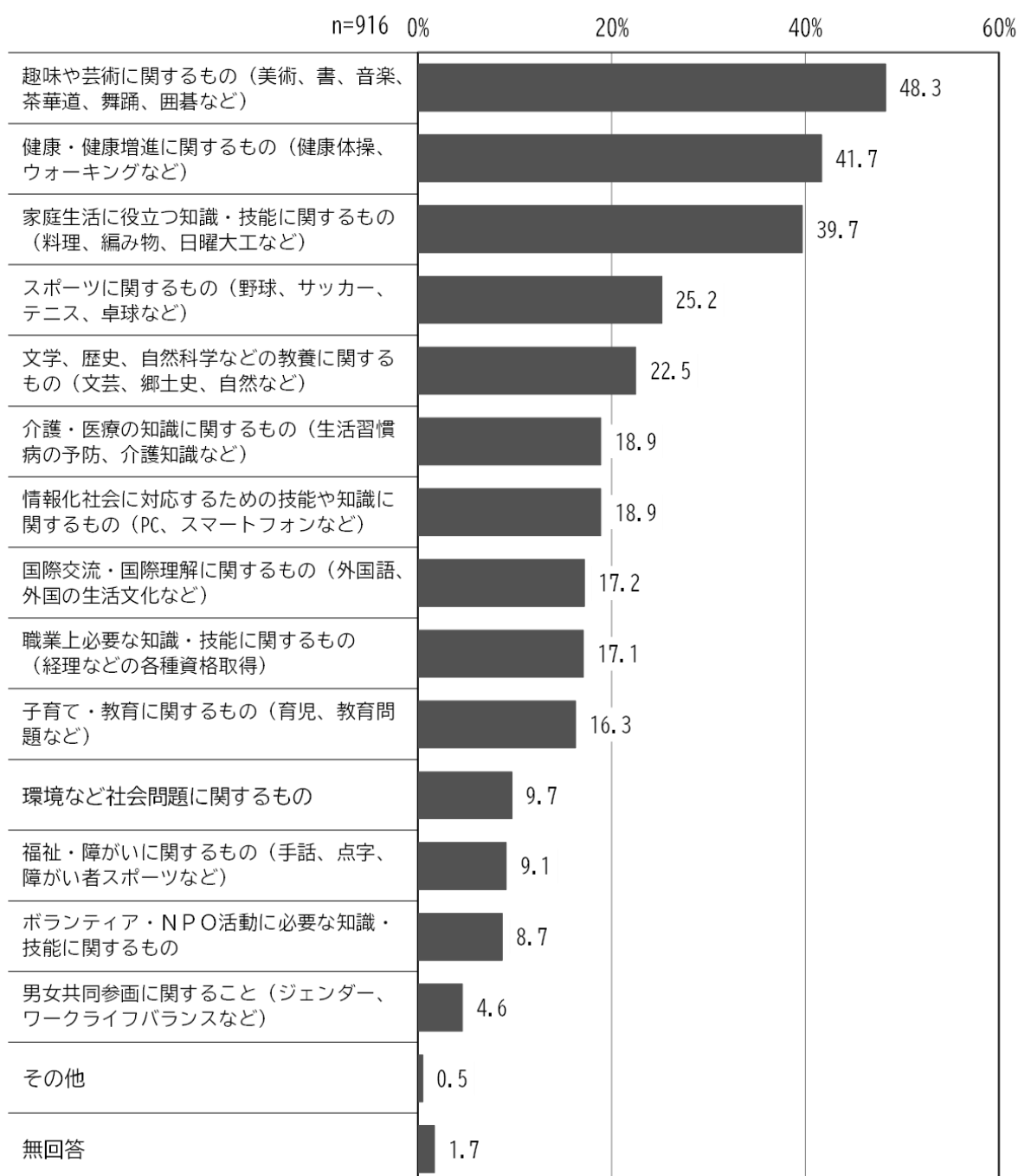
《表⑨》

	市や地域団体が開催する講座・教室	個人レッスン、カルチャーセンターの講座・教室	同好のグループ・サークルなどへの参加	パソコンやスマートフォンなどによるオンライン講座	新聞・雑誌・テレビ・ラジオを活用した個人学習	職場内の研修や教育	専門学校・大学の公開講座	通信教育・放送大学	その他	(%) 無回答
10歳代 (n=37)	21.6	35.1	40.5	27.0	32.4	-	13.5	2.7	-	-
20歳代 (n=86)	31.4	40.7	29.1	51.2	33.7	25.6	3.5	4.7	2.3	-
30歳代 (n=119)	40.3	51.3	25.2	42.0	33.6	24.4	5.9	5.0	1.7	-
40歳代 (n=204)	47.1	53.9	25.5	35.3	27.5	18.1	7.8	11.8	0.5	-
50歳代 (n=191)	56.0	48.7	31.9	36.6	24.1	8.4	12.0	6.8	1.6	-
60歳代 (n=115)	56.5	38.3	33.0	27.0	27.8	5.2	8.7	4.3	0.9	0.9
70歳代 (n=121)	56.2	25.6	52.9	11.6	20.7	0.8	5.0	1.7	0.8	3.3
80歳代以上 (n=37)	48.6	29.7	51.4	10.8	21.6	-	2.7	-	2.7	2.7

■ 今後機会を増やしたい学習の内容(全体)

今後機会を増やしたい学習の内容について、全体の結果をみると、「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」（48.3%）、「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（41.7%）、「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」（39.7%）の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑬》



■ 今後機会を増やしたい学習の内容(年代別)

今後機会を増やしたい学習の内容について、年代別の結果をみると、「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」についてはいずれの年代も割合が高くなっています。そのほかについては、10 歳代は「スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）」、20 歳代では「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」、30 歳代では「子育て・教育に関するもの（育児、教育問題など）」と「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」の割合が高い傾向にあります。一方、40 歳代以上では、「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」の割合が高くなる傾向にあります。40 歳代～60 歳代では「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」の割合も高くなっています。

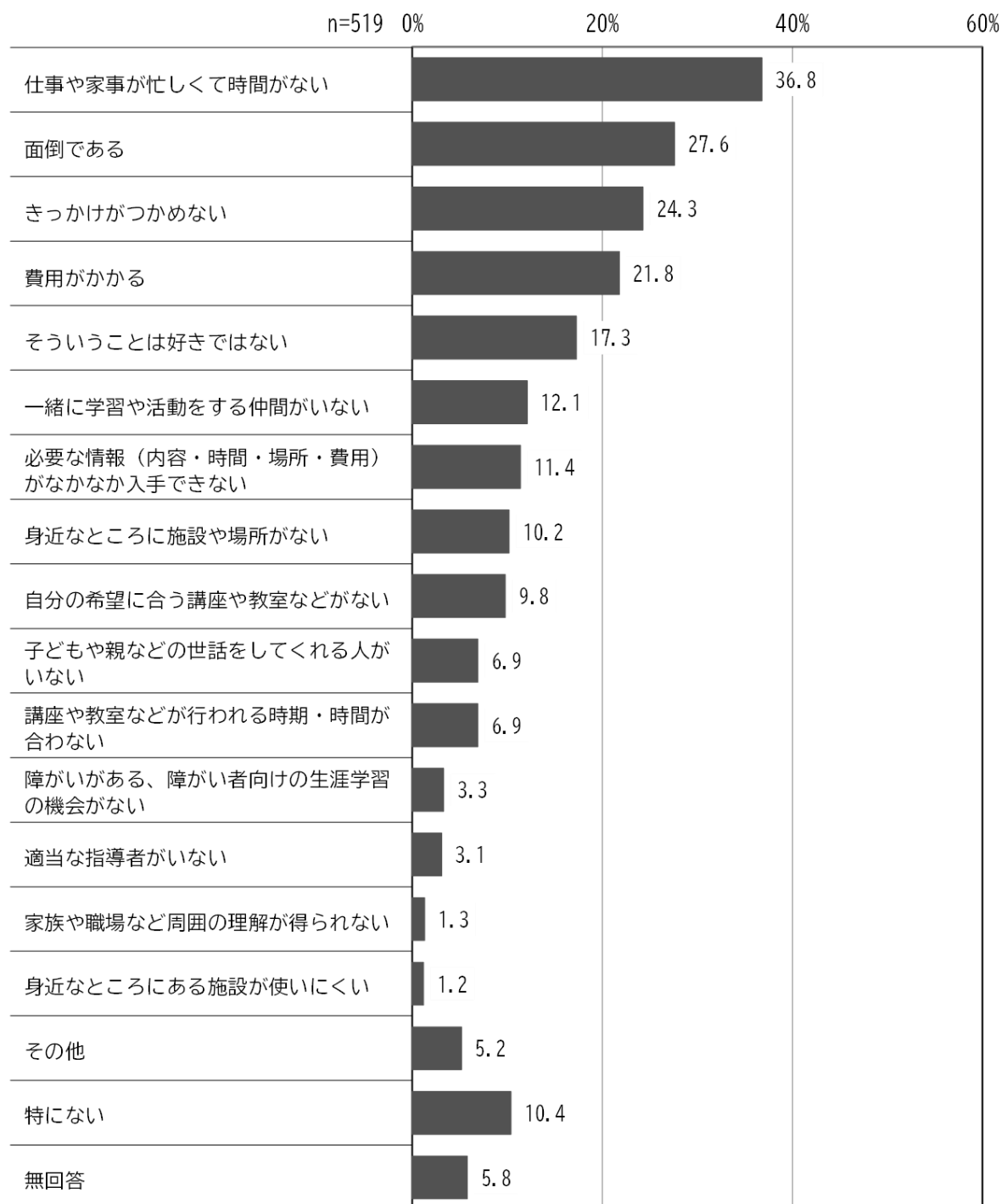
《表⑩》

	趣味や芸術に関するもの (美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)	健康・健康増進に関するもの (健康体操、ウォーキングなど)	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの (料理、編み物、日曜大工など)	スポーツに関するもの (野球、サッカー、テニス、卓球など)	文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの (文芸、郷土史、自然など)	介護・医療の知識に関するもの (生活習慣病の予防、介護知識など)	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの (PC、スマートフォンなど)	国際交流・国際理解に関するもの (外国語、外国の生活文化など)	職業上必要な知識・技能に関するもの (経理などの各種資格取得)	子育て・教育に関するもの (育児、教育問題など)	環境など社会問題に関するもの	福祉・障がいに関するもの (手話、点字、障がい者スポーツなど)	ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの	男女共同参画に関するもの (ジェンダー、ワークライフバランスなど)	その他	無回答
10歳代 (n=17)	51.4	16.2	21.6	43.2	27.0	5.4	29.7	27.0	18.9	13.5	10.8	13.5	10.8	24.3	0.0	0.0
20歳代 (n=23)	43.0	26.7	44.2	29.1	23.3	25.6	22.1	24.4	27.9	26.7	10.5	15.1	10.5	7.0	0.0	0.0
30歳代 (n=41)	49.6	40.3	47.1	33.6	13.4	17.6	18.5	20.2	35.3	43.7	8.4	13.4	5.9	6.7	0.8	1.7
40歳代 (n=59)	39.2	37.7	45.1	31.9	18.6	17.6	19.1	22.5	22.5	21.6	5.9	8.3	7.4	3.4	0.5	0.5
50歳代 (n=63)	57.1	42.9	42.4	22.5	24.6	17.8	16.2	18.8	13.1	4.7	7.3	8.4	7.9	2.6	1.0	2.1
60歳代 (n=49)	45.2	52.2	41.7	20.0	24.3	21.7	21.7	10.4	10.4	8.7	13.9	7.8	11.3	2.6	0.0	0.9
70歳代 (n=51)	55.4	51.2	26.4	11.6	28.1	19.0	14.9	3.3	0.8	1.7	14.0	3.3	11.6	1.7	0.8	4.1
80歳代以上 (n=17)	43.2	56.8	16.2	5.4	27.0	21.6	18.9	8.1	0.0	8.1	16.2	5.4	8.1	2.7	0.0	8.1

■ 生涯学習に取り組もうと思わない理由(全体)

生涯学習に取り組もうと思わない理由について、全体の結果をみると、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(36.8%)、「面倒である」(27.6%)、「きっかけがつかめない」(24.3%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑰》



■ 生涯学習に取り組もうと思わない理由(年代別)

生涯学習に取り組もうと思わない理由について、年代別の結果をみると、10 歳代では「きつかけがつかめない」、20 歳代～60 歳代では「仕事や家事が忙しくて時間がない」、70 歳代以上では「面倒である」の割合が最も高くなっています。

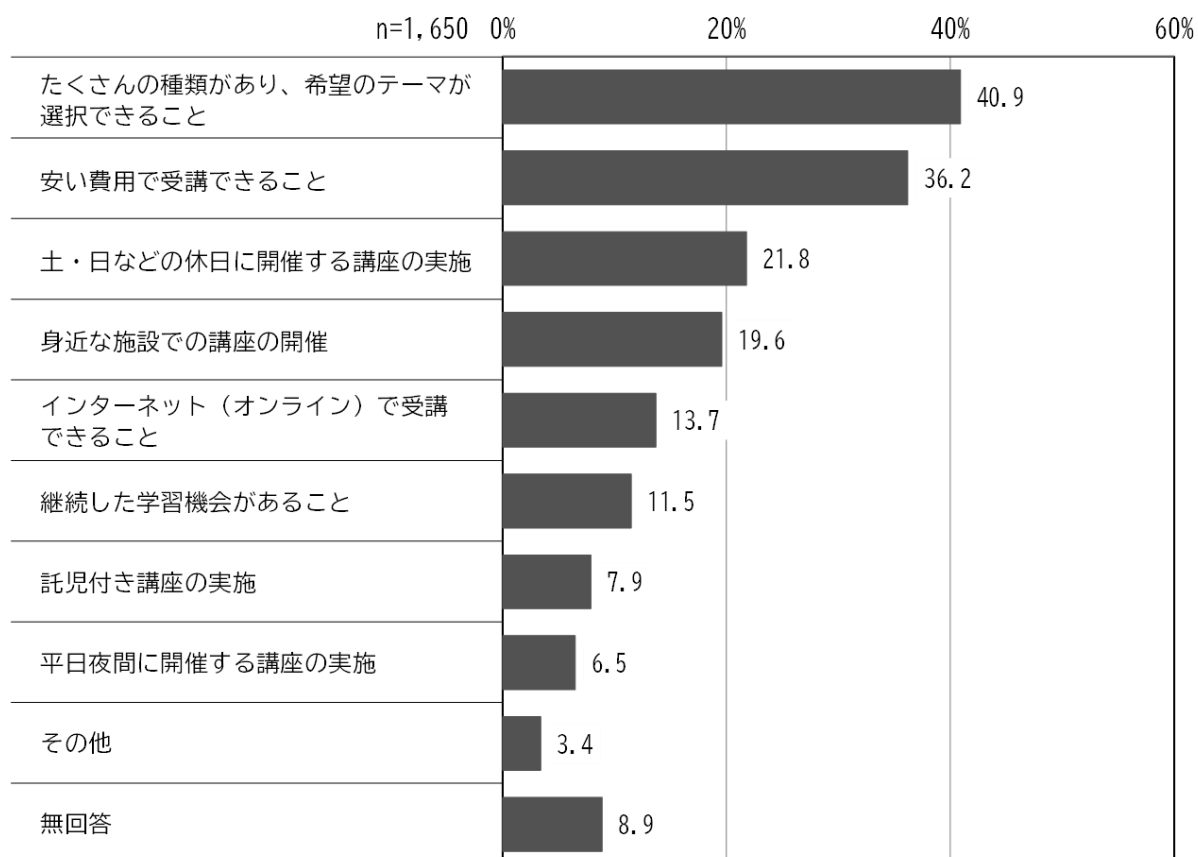
《表①》

	仕事や家事が忙しくて時間がない	面倒である	きつかけがつかめない	費用がかかる	そういうことは好きではない	一緒に学習や活動をする仲間がない	必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか入手できない	身近なところに施設や場所がない	自分の希望に合う講座や教室などがない	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	講座や教室などが行われる時期・時間が合わない	障がいがある、障がい者向けの生涯学習の機会がない	適当な指導者がいない	家族や職場など周囲の理解が得られない	身近なところにある施設が使いにくい	その他	特にない	無回答
10歳代 (n=20)	35.0	35.0	45.0	35.0	10.0	20.0	20.0	5.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	10.0	-
20歳代 (n=40)	70.0	37.5	40.0	25.0	20.0	20.0	10.0	7.5	5.0	2.5	7.5	2.5	2.5	-	5.0	-	5.0	2.5
30歳代 (n=56)	57.1	35.7	21.4	28.6	10.7	16.1	7.1	10.7	5.4	23.2	1.8	-	3.6	-	1.8	3.6	12.5	-
40歳代 (n=86)	58.1	32.6	27.9	31.4	23.3	7.0	14.0	9.3	8.1	12.8	10.5	2.3	3.5	1.2	-	1.2	5.8	-
50歳代 (n=74)	51.4	24.3	28.4	36.5	17.6	13.5	12.2	13.5	14.9	6.8	14.9	4.1	4.1	4.1	1.4	4.1	5.4	1.4
60歳代 (n=63)	31.7	23.8	20.6	15.9	22.2	12.7	9.5	6.3	11.1	4.8	1.6	1.6	3.2	-	1.6	3.2	15.9	3.2
70歳代 (n=126)	8.7	22.2	19.0	10.3	19.0	9.5	11.1	15.9	11.9	2.4	7.9	3.2	0.8	2.4	0.8	7.9	12.7	13.5
80歳代以上 (n=51)	5.9	21.6	13.7	5.9	3.9	11.8	9.8	2.0	7.8	-	2.0	11.8	3.9	-	-	17.6	13.7	17.6

■ 市の講座に求めること(全体)

市の講座に求めることについて、全体の結果をみると、「たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること」(40.9%)、「安い費用で受講できること」(36.2%)、「土・日などの休日に開催する講座の実施」(21.8%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑱》



■ 市の講座に求めること(年代別)

市の講座に求めることについて、年代別の結果をみると、いずれの年代も「たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること」、「安い費用で受講できること」が上位 2 位となっています。また、20 歳代～50 歳代では「土・日などの休日に開催する講座の実施」、10 歳代と 60 歳代以上では「身近な施設での講座の開催」の割合も高い傾向にあり、30 歳代では「託児付き講座の実施」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

《表12》

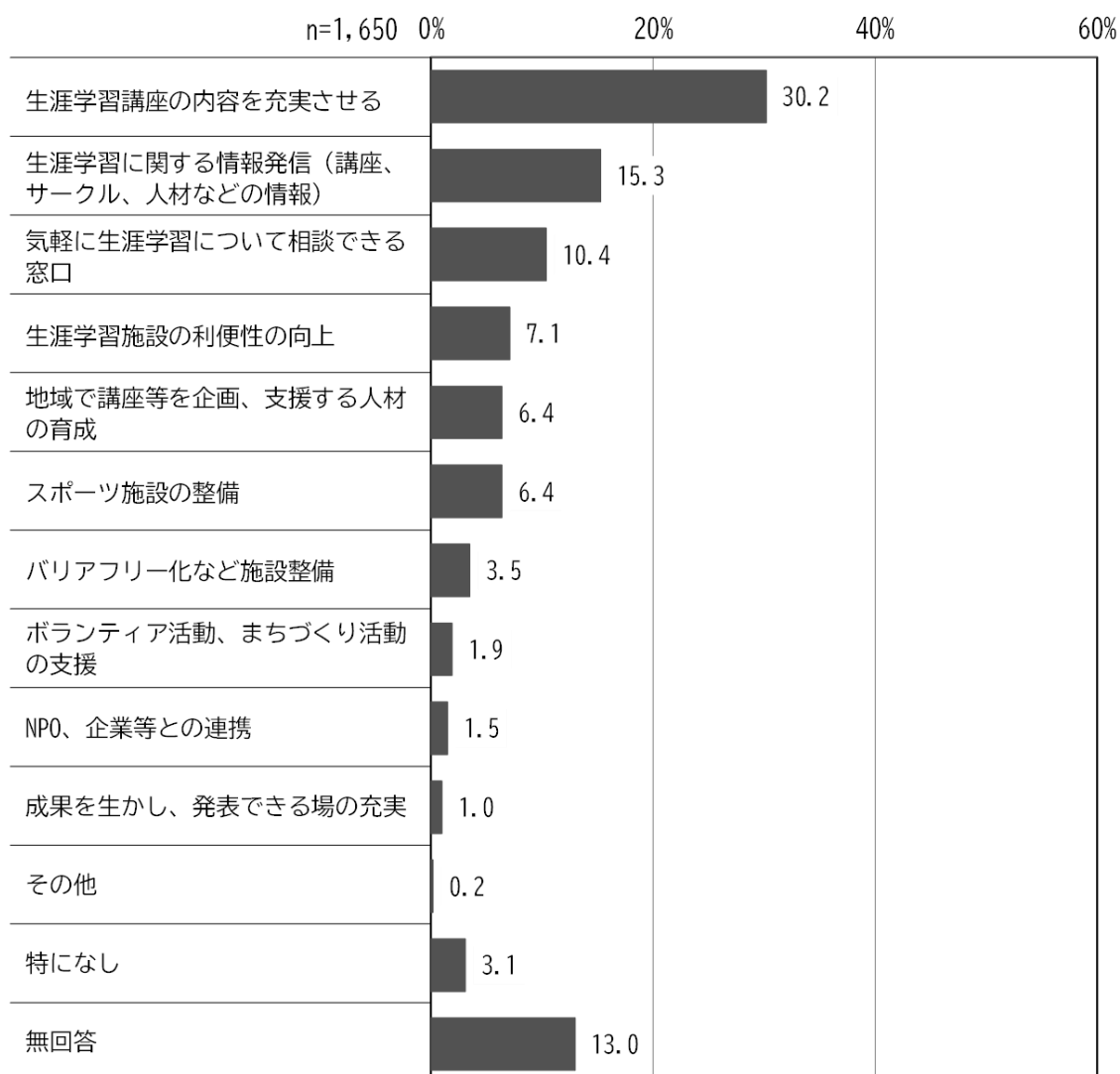
	たくさんの種類があり、希望のテーマが選択できること	安い費用で受講できること	土・日などの休日に開催する講座の実施	身近な施設での講座の開催	インターネット(オンライン)で受講できること	継続した学習機会があること	託児付き講座の実施	平日夜間に開催する講座の実施	その他	(%) 無回答
10歳代 (n=59)	44.1	40.7	11.9	28.8	22.0	15.3	6.8	8.5	1.7	1.7
20歳代 (n=132)	40.9	30.3	27.3	14.4	27.3	7.6	16.7	6.1	3.8	0.8
30歳代 (n=183)	41.5	36.1	25.7	10.4	19.7	7.7	27.3	9.3	3.3	1.1
40歳代 (n=328)	43.3	45.4	29.3	12.8	19.2	11.0	6.1	9.5	2.1	1.5
50歳代 (n=290)	46.9	39.3	35.9	15.9	12.4	10.3	3.4	8.3	4.1	2.8
60歳代 (n=206)	45.1	31.1	15.5	25.7	11.2	18.4	4.4	4.9	5.8	6.3
70歳代 (n=312)	33.7	32.7	7.4	30.4	4.5	11.9	2.6	3.2	2.2	25.0
80歳代以上 (n=127)	31.5	28.3	8.7	23.6	2.4	11.0	3.1	2.4	3.9	29.1

(6)生涯学習の推進に必要な視点

■ 生涯学習を推進する上で最も重要だと思う取組み(全体)

生涯学習を推進する上で最も重要だと思う取組みについて、全体の結果をみると、「生涯学習講座の内容を充実させる」(30.2%)、「生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)」(15.3%)、「気軽に生涯学習について相談できる窓口」(10.4%)の順で割合が高くなっています。

《グラフ⑱》



■ 生涯学習を推進する上で最も重要だと思う取組み(年代別)

生涯学習を推進する上で最も重要だと思う取組みについて、年代別の結果をみると、いずれの年代においても「生涯学習講座の内容を充実させる」の割合が最も高くなっています。また、10 歳代～70 歳代では「生涯学習に関する情報発信（講座、サークル、人材などの情報）」の割合が2 番目に高くなっていますが、80 歳代以上では「地域で講座等を企画、支援する人材の育成」の割合が2 番目に高くなっています。

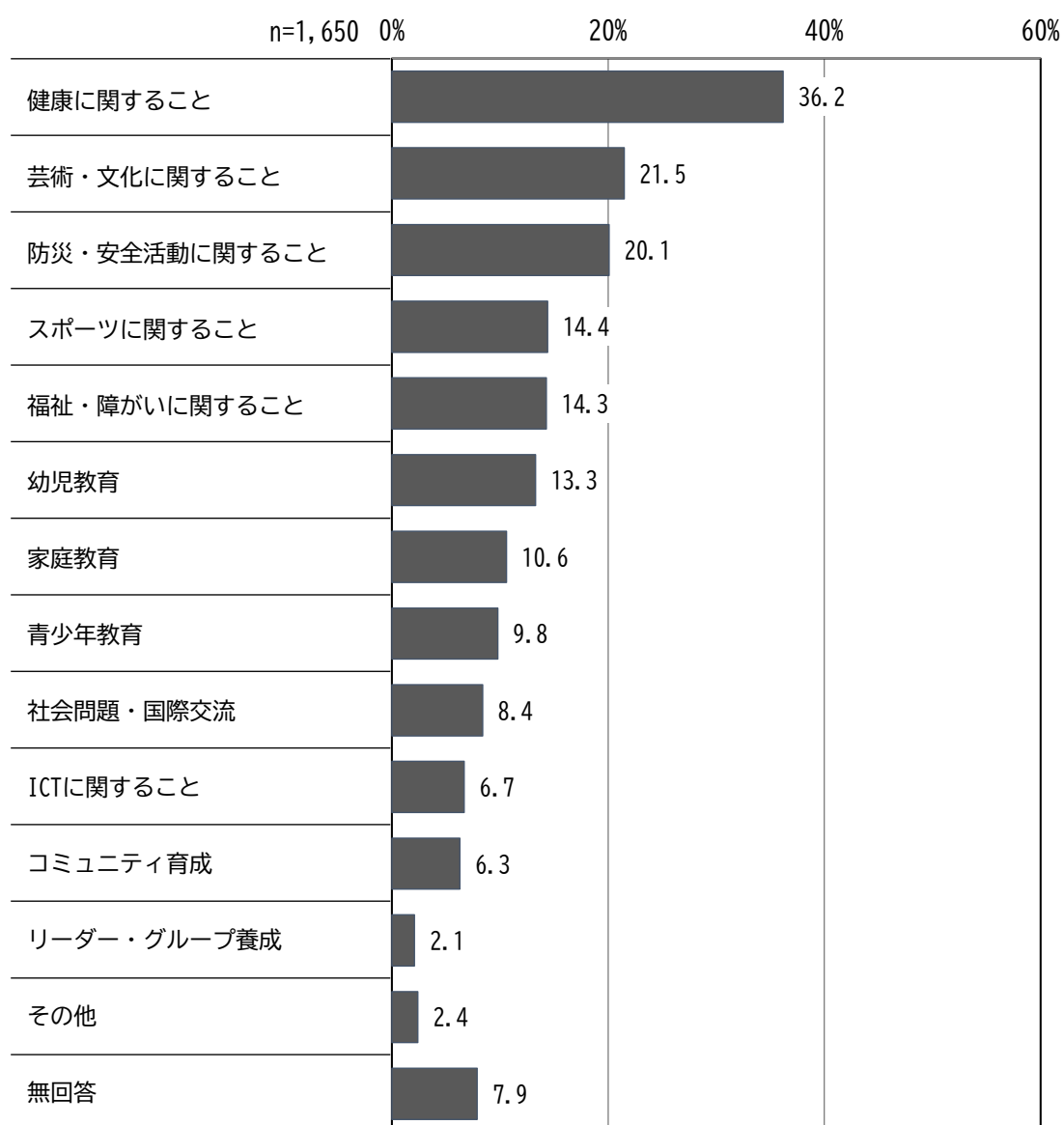
《表13》

	生涯学習講座の内容を充実させる	生涯学習に関する情報発信（講座、サークル、人材などの情報）	気軽に生涯学習について相談できる窓口	生涯学習施設の利便性の向上	地域で講座等を企画、支援する人材の育成	スポーツ施設の整備	バリアフリー化など施設整備	ボランティア活動、まちづくり活動の支援	NPO、企業等との連携	成果を生かし、発表できる場の充実	その他	特になし	無回答
	(%)												
10歳代 (n=59)	18.6	15.3	5.1	5.1	5.1	11.9	10.2	5.1	3.4	3.4	1.7	6.8	8.5
20歳代 (n=132)	28.0	18.2	12.9	8.3	6.8	8.3	7.6	1.5	1.5	1.5	0.8	3.0	1.5
30歳代 (n=183)	32.2	18.6	10.9	4.9	6.6	9.3	2.2	1.1	3.8	1.6	-	6.0	2.7
40歳代 (n=328)	34.1	16.8	10.7	7.9	5.2	11.0	2.4	2.7	0.9	1.5	-	3.4	3.4
50歳代 (n=290)	42.4	11.7	9.7	6.2	6.2	6.9	3.1	2.1	1.7	0.3	0.3	3.1	6.2
60歳代 (n=206)	32.0	17.0	10.7	8.3	5.3	2.9	1.0	0.5	1.5	1.5	-	1.9	17.5
70歳代 (n=312)	19.6	16.3	11.5	8.3	7.7	1.3	3.2	1.9	0.6	0.3	-	1.3	27.9
80歳代以上 (n=127)	21.3	7.1	7.1	4.7	9.4	0.8	6.3	2.4	-	-	-	3.1	37.8

■ 今後、生涯学習を進める上で力を入れるべき分野(全体)

今後、生涯学習を進める上で力を入れるべき分野について、全体の結果をみると、「健康に関すること」(36.2%)、「芸術・文化に関すること」(21.5%)、「防災・安全活動に関すること」(20.1%)の順で割合が高くなっています。

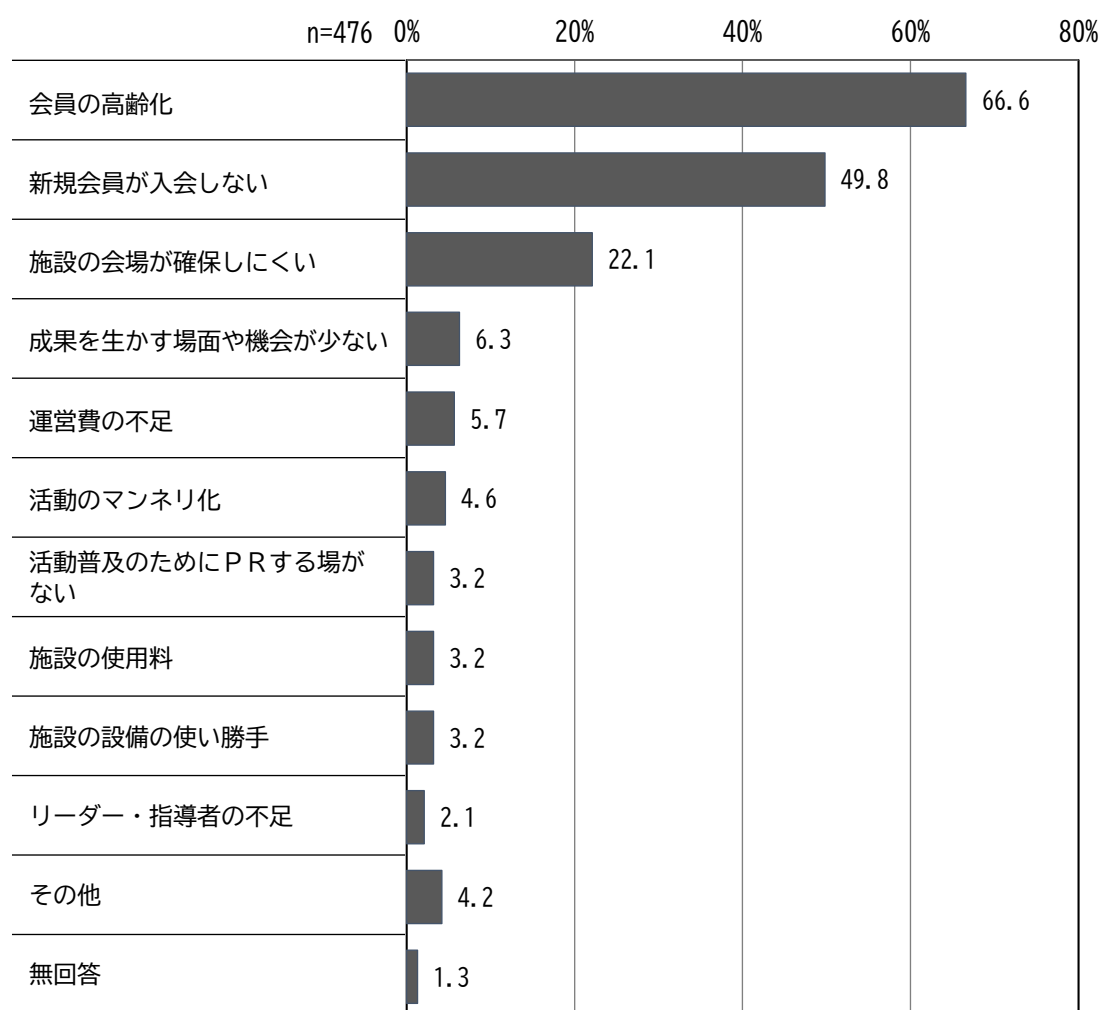
《グラフ⑳》



■ 生涯学習団体が活動する上での課題

生涯学習団体が活動する上での課題については、「会員の高齢化」（66.6%）、「新規会員が入会しない」（49.8%）、「施設の会場が確保しにくい」（22.1%）の順で割合が高くなっています。

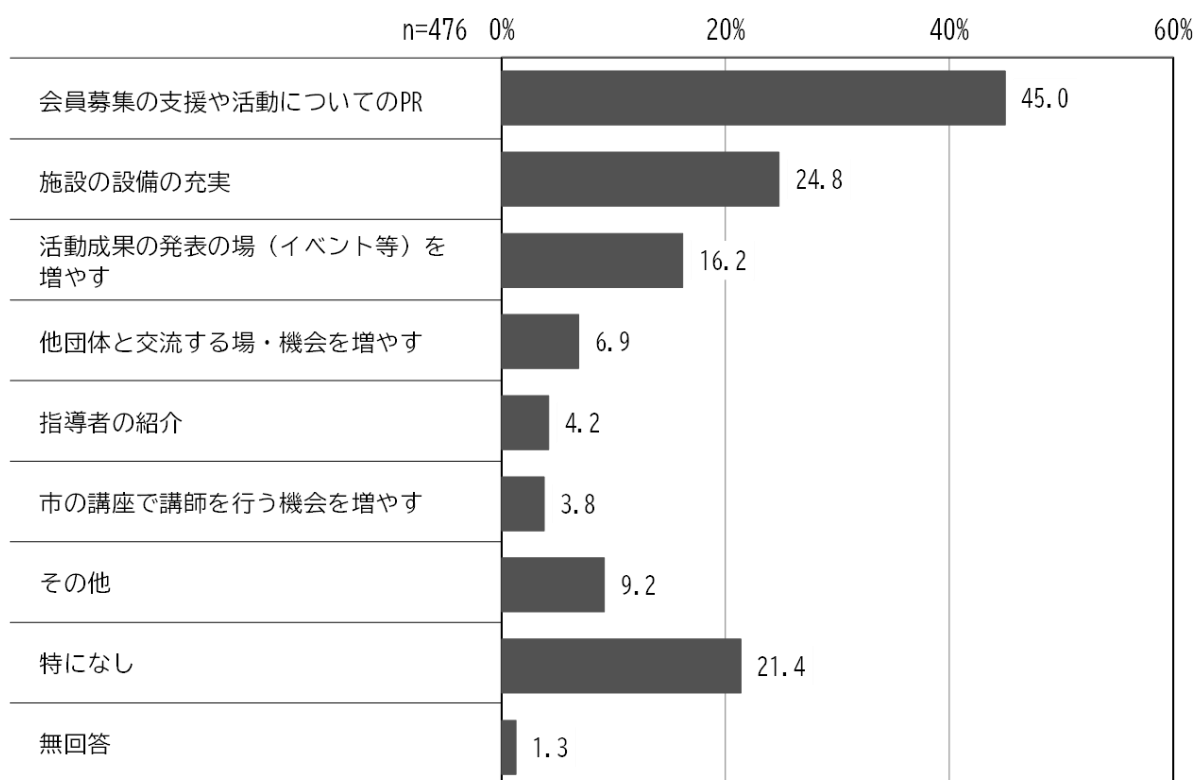
《グラフ⑪》



■ 生涯学習団体が活動する上で市に望むこと

生涯学習団体が活動する上で市に望むことについては、「会員募集の支援や活動についてのPR」（45.0%）、「施設の設備の充実」（24.8%）、「活動成果の発表の場（イベント等）を増やす」（16.2%）の順で割合が高くなっています。

《グラフ②》



(1)文化・学習施設

名称	設置年月日	所在地	施設概要
味美ふれあいセンター	昭和 62 年 6 月	西本町 1-15-1	集会室 3、料理・工作室、和室 2、ホール、軽運動室、図書室
高蔵寺ふれあいセンター	昭和 63 年 6 月	高蔵寺町 3-2-1	集会室 3、料理・工作室、和室 2、ホール、図書室
南部ふれあいセンター	平成 3 年 10 月	下条町 666-6	集会室 2、料理・工作室、和室 2、ホール、図書室、軽運動室、談話室
西部ふれあいセンター	平成 6 年 10 月	宮町 3-8-2	集会室 2、料理・工作室、和室 2、ホール、図書室、トレーニングルーム、多目的室、談話室
中央公民館	昭和 62 年 4 月	柏原町 1-97-1	集会室 7、ホール、陶芸実習室、テニスコート 8 面、民俗考古展示室、森浩一文庫、四つ建て民家、図書室
知多公民館	昭和 50 年 1 月 (平成 25 年 12 月建替)	知多町 4-55	集会室 4、料理・多目的室、ホール、図書室
鷹来公民館	昭和 55 年 1 月	町屋町 3610-1	集会室 4、料理教室、和室、ホール、実習室、図書室
坂下公民館	昭和 57 年 10 月	坂下町 4-250-1	集会室 4、料理教室、和室、ホール、図書室
東部市民センター 東部公民館	昭和 58 年 6 月	中央台 2-2-1	ホール、楽屋 3、きずなギャラリー 集会室 3、料理教室、研修室、和室、セミコンサート・リハーサル室、音楽室 2、休憩室、軽運動室 2、多目的室
青少年女性センター (レディアンかすがい)	平成 3 年 1 月	鳥居松町 2-247	会議室 4、和室 2、ホール 2、研修室、視聴覚音楽室、料理教室、集会室 2、軽運動室、実習室、講習室、多目的ホール
市民活動支援センター (ささえ愛センター)	平成 19 年 4 月	春見町 3	集会室 5、和室 1
総合福祉センター	昭和 55 年 10 月	浅山町 1-2-61	集会室 4、ホール 2、和室、研修室、娯楽室、児童センター
グリーンパレス春日井	昭和 50 年 6 月	東野町字落合池 1-2	会議室 9、談話室 2、広間、ホール、体育館、プレイルーム、テニスコート 2 面、宿泊室 17、図書室、多目的室
高蔵寺まなびと交流センター (グルッポぶじょう)	平成 30 年 4 月	藤山台 1-1	会議室 4、体育館、芝生広場、遊具広場及び駐車場その他敷地、児童館、コミュニティカフェ、地域包括支援センター、こどもとまちのサポートセンター

名称	設置年月日	所在地	施設概要
少年自然の家	昭和 57 年 7 月	廻間町 1102-1	研修室 2、和室 2、会議室、談話室、 工作室、プレイホール、宿泊施設、 キャンプ施設、自然展示コーナー、トリム施設
野外キャンプ場 (細野キャンプ場)	昭和 51 年 7 月	細野町 2988-2	屋外固定炉 2 か所
都市緑化植物園 (グリーンピア春日井)	昭和 63 年 6 月	細野町 3249-1	研修室 2、展示室
市民会館	昭和 40 年 12 月	鳥居松町 5-44	ホール 1,022 席、楽屋 8
文芸館 (文化フォーラム春日井)	平成 11 年 11 月	鳥居松町 5-44	ギャラリー、視聴覚ホール、交流アトリウム、 会議室 2、和室 2、ボランティアルーム、 文化活動室、日本自分史センター、 文化情報プラザ
青年の家 (ハーモニー春日井)	平成 6 年 10 月	西尾町 392	研修室 4、会議室、和室 3、ホール、 プレイルーム
道風記念館	昭和 56 年 11 月	松河戸町 5-9-3	展示室、展示室兼会議室 2、ホール
春日井市図書館	平成 11 年 11 月	鳥居松町 5-44	一般書コーナー、児童書コーナー、対面 読書室、キャレル、調査研究室、おはなしのへや
高蔵寺まなびと交流センター図書館	平成 30 年 4 月	藤山台 1-1	一般図書、児童図書、ティーンズコーナー、 グループ学習室、持込パソコン室、 学習室
郷土館	昭和 48 年 6 月	鳥居松町 7-5	展示室

(2)スポーツ施設

① 屋外

名称	設置年月	区分等	所在地	施設概要
地蔵ヶ池公園グラウンド	昭和 42 年 2 月	広場	勝川町 1-3-1	ソフトボール 1 面
美濃町公園グラウンド	昭和 42 年 3 月	広場	美濃町 2-217	野球 1 面
中央公園グラウンド	昭和 42 年 6 月	広場	鳥居松町 3-21	夜間照明 (S.47.7～) 野球 1 面
篠木公園グラウンド	昭和 42 年 8 月	広場	関田町 1-41	ソフトボール 1 面
繁田公園グラウンド	昭和 42 年 11 月	広場	気噴町北 2-312	夜間照明 (S.50.8～) 野球 1 面
松河戸グラウンド	昭和 48 年 6 月	広場	松河戸町地内	河川敷：少年野球 1 面、野球 3 面
高森山公園テニスコート	昭和 52 年 5 月	人工芝	高森台 8-5	テニスコート 2 面
	平成 2 年 4 月			テニスコート 2 面
牛山運動広場	昭和 52 年 10 月	広場	牛山町 3180	少年野球 1 面、サッカー 1 面又はソフト ボール 2 面

名称	設置年月	区分等	所在地	施設概要
上条グラウンド	昭和 53 年 6 月	広場	上条町 9 地内	河川敷：ソフトボール 2 面
市民球場	昭和 56 年 4 月	野球場	明知町 463- 1	観覧席 2,000 席、外野 4,000 人
熊野グラウンド	昭和 57 年 10 月	広場	熊野町地内	河川敷：野球 1 面、ソフトボール 1 面
白山運動広場	昭和 59 年 4 月	広場	白山町 6 - 4 - 2	ソフトボール 2 面
上田楽運動広場	昭和 59 年 4 月	広場	上田楽町 1958- 1	野球 1 面
総合体育館運動広場	昭和 62 年 11 月	広場	鷹来町 4196- 3	サッカー他
高蔵寺運動広場	昭和 63 年 4 月	広場	高蔵寺町 2 地内	河川敷：ソフトボール 1 面
総合体育館相撲場	平成 6 年 11 月	－	鷹来町 4196- 3	土俵 1 面
前高グラウンド	平成 10 年 10 月	広場	西高山町 2 - 11	サッカー 1 面又はソフトボール 1 面
牛山公園グラウンド	平成 11 年 4 月	広場	牛山町 3103	サッカー 1 面又はソフトボール 2 面
大池緑地グラウンド	平成 13 年 5 月	広場	西山町 5 - 18 - 1	野球 1 面又はサッカー 1 面
朝宮公園野球場	昭和 55 年 4 月	野球場	朝宮町 4 - 1 - 2	野球 1 面、観覧席 200 席
朝宮公園陸上競技場 (スポーレ春日井)	令和 3 年 7 月	陸上 競技場	朝宮町 4 - 1 - 2	全天候型フルウレタン舗装トラック 400 m× 8 レーン、投てき競技対応型ロングパイル人工芝インフィールド 1 面、夜間照明、メインスタンド（諸室・観覧席 1,020 席他）、バックスタンド観覧席 261 席他
朝宮公園多目的広場	令和 4 年 7 月	広場	朝宮町 4 - 1 - 2	少年サッカー 1 面又はフットサル 2 面
朝宮公園テニスコート	令和 5 年 3 月	人工芝	朝宮町 4 - 1 - 2	テニスコート 8 面、観覧席 552 席

② 屋内

名称	設置年月	所在地	施設概要
総合体育館	昭和 61 年 6 月	鷹来町 4196- 3	第 1 競技場(バスケットボール 3 面)、第 2 競技場、柔道場、剣道場、弓道場、卓球場、フィットネスルーム、会議室他
温水プール (サンフロッグ春日井)	平成 5 年 6 月	南下原町 2 - 4 - 11	50m・25m プール、ウォーター 슬라이ダー、流水プール、幼児用プール、トレーニング室他
落合公園体育館	平成 25 年 4 月	東野町字茨沢 15- 5	競技場、会議室他
朝宮公園多目的活動室	令和 3 年 7 月	朝宮町 4 - 1 - 2	スポーツ床、壁面鏡、音響等